

材料の組織と特性部会 「自主フォーラム」発足のご案内

材料の組織と特性部会では、「鉄と鋼」8月号で自主フォーラムの公募を行ったところ、7件の申請がありました。運営委員会で全てが承認され、活動を開始しました。なお、参加ご希望の方は自主フォーラム代表者に直接ご連絡下さい。

1. 材料の表面・界面の評価・解析フォーラム

趣旨：本自主フォーラムは、材料の表面・界面における組成、状態、構造などを調べるための評価・解析方法、およびそれらの方法により得られた例について情報交換を行うことを目的としている。材料の表面特性や組織形成過程などには、表面・界面が関連する現象が多く含まれ、それらを評価・解析する重要性が益々高まっている。ここでは、それらを調べるための各種方法の最近の発展や材料における表面・界面の実態について理解を深めていく。

世話人：東北大学 素材工学研究所 助教授 鈴木茂

〒980-77 仙台市青葉区片平2-1-1 TEL(022)217-5168 FAX(022)217-5211

2. 大荷重下における高強度材料の変形・破壊機構の解明フォーラム

趣旨：大荷重下における高強度材の変形・破壊機構の解明は今回の大震災とも関連して重要な課題である。特に、高速変形時の破壊様式は従来のモデルでは説明しがたいとも言われておりその解明を急がれている。本自主フォーラムでは高強度鉄鋼材料を中心にして歪み速度、温度、拘束条件などをパラメータにした変形および破壊様式について、現状を整理して必要な研究課題を抽出するとともに、研究者相互の討論・研鑽の場としたい。

世話人：金属材料技術研究所 力学特性研究部 部長 鈴木洋夫

〒305 つくば市千現1-2-1 TEL(0298)53-1037 FAX(0298)53-1090 E-mail hgs@nrim.go.jp

3. 鉄鋼微量分析の現状解析と将来技術討論フォーラム

趣旨：近年、鉄鋼中の不純物での微量元素が物性に大いに影響を与えていることが明らかとなり、高純度化技術の開発と高純度を評価する微量元素分析技術の開発が必要不可欠となってきている。本フォーラムでは現状の微量分析技術の問題点を明らかにして、将来の鉄鋼を開発するに見合った微量分析技術の見極めと具体的な技術の開発を検討することを目的としている。本趣旨にご賛同の会員は是非ご参加下さい。

世話人：武蔵工業大学 原子力研究所 教授 平井昭司

〒215 川崎市麻生区王禅寺971 TEL(044)966-6131 FAX(044)966-6165

4. 外的要因によるマルテンサイトの組織変化フォーラム

趣旨：鋼のマルテンサイトは、耐熱鋼や耐磨耗鋼などの構造部材に利用される強化組織であり、外部から加わる温度や応力によってその形態が刻々変化して、材料に要求される諸特性が劣化することがある。本フォーラムでは、鋼の用途にはこだわらずにマルテンサイト組織に的を絞って、種々の外的要因と組織変化の関係を広範な方向から総合的に見直すことを目的として、疲労、クリープ、熱処理等の各分野の研究者による勉強会を行なう。

世話人：九州大学 工学部 材料工学科 助教授 高木節雄

〒812 福岡市東区箱崎6-10-1 TEL(092)641-1101 (内) 5727 FAX(092)632-0434

E-mail : takaki@zaiko0.zaiko.kyushu-u.ac.jp

5. ステンレス鋼の材質と耐食性フォーラム

趣旨：ステンレス鋼研究者相互の交流を深め、この分野の研究の活性化を図ることを目的とする。年2回程度のステンレス鋼の材質と耐食性を主題とする研究会の開催と、シンポジウム・討論会などの企画について検討し意見集約することが主な活動内容である。

世話人：大同工業大学 機械工学科 教授 細井祐三

〒457 名古屋市長区大同町2-30 TEL(052)611-0513 FAX(052)612-5653

6. 複相材料のミクロ組織と特性フォーラム

趣旨：本自主フォーラムは、標記テーマの相互勉強会として企画するもので、複相組織を持つ各種材料の力学的・機能的性質、複相組織の結晶学・形態学・生成機構、界面や粒界のキャラクタリゼーションなどを扱い、材料の諸特性との関連において、今何が問題で、どこまで理解されているかを勉強したい。全体会合はあまりできないであろうが、世話人は、情報交換や問題提起などに対する討論や回答など、メンバーの相互交流の窓口となりたい。

世話人：東京工業大学 大学院総合理工学研究科 材料科学専攻 助教授 加藤雅治

〒226 横浜市緑区長津田町4259 TEL(045)924-5633 FAX(045)922-5173

7. 材料システムの界面アーキテクチャーフォーラム

趣旨：一般に材料は多様な微細組織で構成されている機能システムであり、その機能・性能は微細組織を構成している要素の種類、存在形態などに大きく依存する。本フォーラムでは、先端高性能・多機能材料の設計・開発に不可欠な微細組織精密制御と関連し、とくに粒界などの内部界面および表面の設計・制御に注目し、材料システムの設計制御(界面アーキテクチャー)への指針を確立し、材料界面科学工学の発展を促すことを目的とする。

世話人：東北大学 工学部 機械知能工学科 教授 渡邊忠雄

〒980-77 仙台市青葉区荒巻字青葉 TEL(022)217-6902 FAX(022)217-6903

本件に関する問合せ先：

(社)日本鉄鋼協会 学会部門事務局 植田

〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階 TEL(03)3279-6022(代) FAX(03)3245-1355